

デンソークリエイト 1DAYインターンシップ マイクロマウス開発手順書

オンライン

社内技術・教育プロジェクト



Agenda



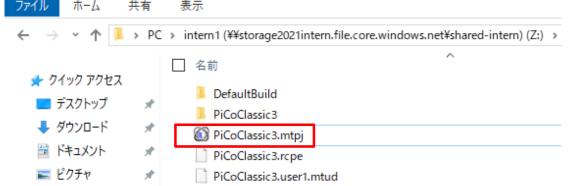
- 1. プロジェクトを開く
- 2. プログラムをビルドする
- 3. プログラムを本体に書き込む



1. プロジェクトを開く



「Z:¥Internship_program」フォルダ内の「PiCoClassic3.mtpj」をダブルクリックしてください。



アプリケーションソフト "CS+ for CC" が起動します。





1. プロジェクトを開く



起動時に「ワン・ポイント・アドバイス」、「My Renesesas ヘログイン」の「未読のお知らせがあります」などの ダイアログが出た場合は、気にせず「×」をクリックしてください。









ビルドは、作成したプログラムをマイコンが理解できるように翻訳し、実行できる形式にすることです。 プログラムを変更したらビルドする必要があります。

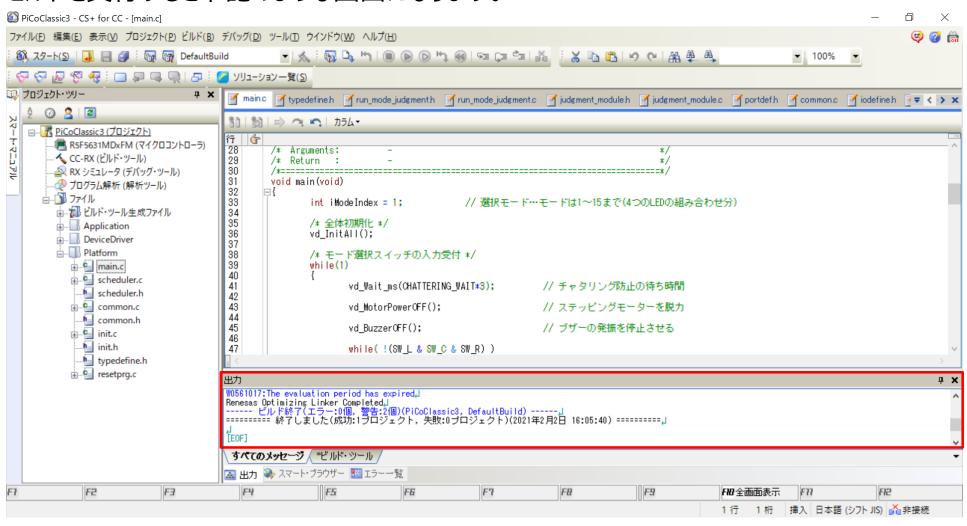
メニューバーから「ビルド -> ビルド・プロジェクト(B)」を選択します。

PiCoClassic3 - CS+ for CC - 「プロジェクト・ツリー」 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) プロジェクト(P) ビルド(B) デバッグ(D) ツール(T) ウインドウ(W) ヘルプ(H) ビルド・プロジェクト(B) F7 リビルド・プロジェクト(R) Shift+F7 クリーン・プロジェクト(C) 退 プロジェクト・ツリー ラピッド・ビルド(A) 依存関係の更新(P) □··· RiCoClassic3 (プロジェクト) PiCoClassic3 をビルド(U) ◆ CC-RX (ビルド・ツール) PiCoClassic3 をリビルド(E) 🔊 RX シミュレータ (デバッグ・ツール PiCoClassic3 をクリーン(L) プログラム解析 (解析ツール) PiCoClassic3 の依存関係の更新(D) Application PiCoClassic3 のリンク順を設定する(K)... DeviceDriver PiCoClassic3 用に最適化性能比較ツールを表示(Z)... Platform ビルドを中止(S) Ctrl+F7 ビルド・モードの設定(M)... バッチ・ビルド(T)... ビルド・オプション一覧(O) vd_StopMotor 109





ビルドを実行すると下記のような画面になります。







画面の下のメッセージウィンドウの出力に次の文字が表示されたら、ビルドが成功です。

```
出力

W0561017: The evaluation period has expired』
Renesas Optimizing Linker Completed』
------ ビルド終了(エラー:0個,警告:2個)(PiCoClassic3, DefaultBuild) ------』
========= 終了しました(成功:1プロジェクト,失敗:0プロジェクト)(2021年2月2日 16:05:40) ========』

[EOF]

オペてのメッセージ *ビルド・ツール

出力 ※ スマート・ブラウザー 国エラー一覧
```

以下の警告が2個出ますが問題はありません。

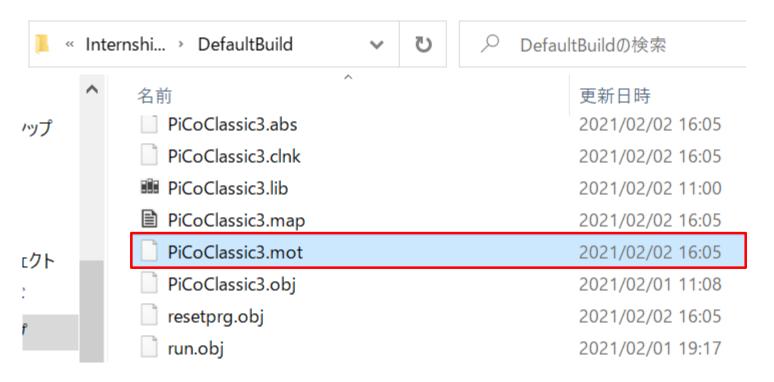
```
| W0561017:The evaluation period has expired』
| W0561017:The evaluation period has expired』
| Renesas Optimizing Linker Completed』
|------ ビルド終了(エラー:0個,警告:2個)(PiCoClassic3, DefaultBuild) ------』
```

"The evaluation period has expired" の意味は "CS+ for CC" の評価版の有効期限が切れている ために出る警告です。有効期限が切れているとメモリに書き込める容量が 128k バイト以内に制限されます。 しかし、今回作成するプログラムは128kバイトを超える容量にはならないため問題にはなりません。





「Z:¥Internship_program¥Internship_program¥DefaultBuild」フォルダ内に「PiCoClassic3.mot」というファイルが作成されていることを確認してください。





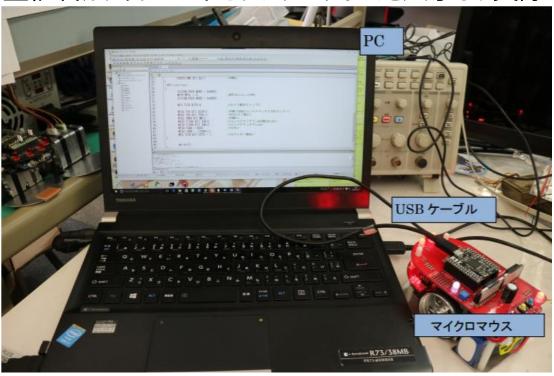
3. プログラムを本体に書き込む



ビルドが完了したプログラムをマイクロマウス本体に書き込みます。

主催者が用意したプログラム格納用フォルダに、「DefaultBuild」フォルダ内のファイルをコピー(アップロード)してください。

主催者がアップロードされたプログラムを入手し、実際に本体に書き込みます。

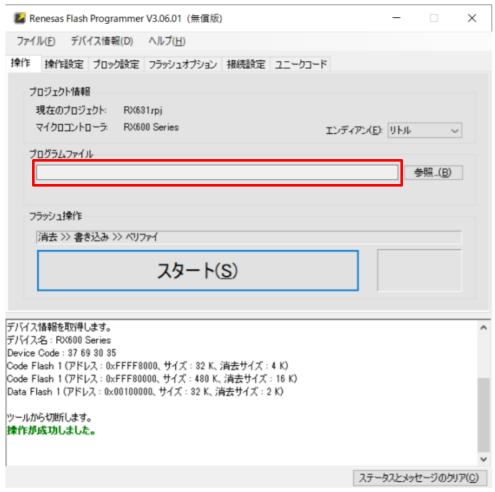




3. プログラムを本体に書き込む



PCとマイクロマウスをUSBで接続し、書き込み用のアプリケーションを使用してマイクロマウス本体にプログラムを書き込みます



「PiCoClassic3.mot」を指定して 書き込み



DENSO Crafting the Core